

# 底質改善でマダイの健康維持

## 湾奥漁場に「クリアウォーター」を春秋散布

「クリアウォーター」(製造元:宇部マテリアルズ(株))は、海水から抽出したミネラルで作られる環境改善剤。主成分は弱アルカリ性の水酸化マグネシウムであり、養殖漁場に散布すると、底質のpHを上昇させて硫化水素の発生を抑え、底生生物や好気性細菌による自然の浄化力を引き出す。全国20以上の漁協、100以上の養殖漁家や種苗生産施設で利用実績がある。

10年来のユーザーである愛媛県宇部市和島町の梶原永裕さん(梶原水産)を訪ね、その散布作業を見せてもらい、手応えなどを聞いた。

梶原水産は、愛媛県漁協遊子支所管内の「水が浦漁場」に16台の小割生簀を展開し、収穫量ベースで年間約8万5千尾のマダイ(平均1.5kg)を生産、昨年からはブリヒラ(約6千尾)の養殖にも取り組んでいる。

梶原さんがクリアウォーターを使い始めたのは、十数年前、同漁場のマダイにスクーチカ症が流行し、同社も湾奥部の生簀で被害を受けたことがきっかけだ。原因虫が当該生簀下の海底に居座らないよう、春と秋の年2回、クリアウォーターを2袋(40kg)ずつ散布す

るようになった。補足すると、管内漁場の底質については青年漁業者協議会が定点調査を行っており、硫化物量等が問題になったことはないが、局所的・一時的には底質の酸性化が進んでいる区画もあり得ると考えた。

その後、スクーチカ症は当該生簀では問題にならなくなった。漁場全体でも下火になったが、「良い結果につながったことは止めずにおこう」と上記の散布を続けていた2016年の冬、今度は管内のマダイにウイルス起因と疑われる大量斃死が起きた。同社もかなりの数の魚を失ったなかで、クリアウォーターを散布してきた生簀の魚群は特異的に被害が少なく、底質改善による好循環の新たな手応えになったという。そのことを聞いた同じ漁場の2漁家もクリアウォーターを用いるようになっている。

ちなみに、梶原水産のマダイ養殖における成魚出荷までの「歩留り」は、平年値で90%台後半とのこと。

**【問合せ先】**  
宇部マテリアルズ(株) マグネシア関連事業部 営業企画部  
TEL 0836-31-6085 FAX 0836-31-0275



かじはら ながひろ  
梶原 永裕さん



クリアウォーター散布の様様。小割生簀の4辺および中央部(渡し板の上)から枠内に満遍なく撒き、さらに4辺に沿って注いでいく(右写真)。この辺りの水深は約45mあるが、潮の動きは緩やかだという。



20kg入りポリ袋からスコップで掬い取ったクリアウォーター(約5mmの粒状タイプ)。

愛媛県漁協遊子支所管内の「水が浦漁場」。

